



米国発表報道資料意識

## アドビシステムズ社、 Adobe Flash Player 9 Linux 版の提供を開始

### Adobe Flex 2 とともに Linux ベースの RIA 開発環境を強化

**【2007 年 1 月 19 日】**

米国カリフォルニア州サンノゼ発 (2007 年 1 月 17 日) Adobe Systems Incorporated (NASDAQ: ADBE、本社: 米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社) は本日、表現力豊かでユビキタスな次世代のランタイム環境である Adobe® Flash® Player 9 の Linux® 版の提供を開始すると発表しました。これにより、オープンソースで汎用性のある Linux 環境上でも Flash コンテンツを楽しむことが可能になります。Adobe Flash Player 9 は非常に高いパフォーマンスと先進的な機能を備えたクロスプラットフォーム対応のランタイム環境として拡大してきましたが、今回新たに Linux 版が提供開始されたことにより、Linux 環境の開発者が、いずれも無償の Adobe Flex® 2 SDK、Adobe Flash Player 9、Flex Data Services 2 Express を活用してリッチインターネットアプリケーション (RIA) を開発、検証、提供できるようになりました。

Adobe Flash Player は、世界中のインターネットに接続された 7 億台以上のコンピュータと各種携帯デバイスにインストールされています。さまざまな端末のユーザと情報とを結びつけることにより、プラットフォームの違いを超えて、コラボレーション作業を可能にし、より表現力豊かで一貫したアプリケーション体験を提供します。

アドビシステムズ社 シニアプロダクトマネージャー エミー ファン (Emmy Huang) は、「Web 上の動画の数は、近年急速に増加しています。こうした状況を背景に Adobe Flash Player は、ユーザが引き込まれるような体験を提供する双方向型のコンテンツおよびアプリケーションの提供手段として、まさに業界標準になろうとしています。新たに Linux ユーザが、インターネット上に公開されている膨大な Flash コンテンツと Flash アプリケーションのすべてにアクセスできるようになりました。Linux 環境の開発者や Linux ユーザも、最先端の Web 2.0 体験を享受することができます」と述べています。

Adobe Flash Player 9 Linux 版は、過去バージョンと比較してスクリプト実行を最大 10 倍の高速化を実現しています。また、ActionScript Virtual Machine 2 (AVM2) を搭載し、省メモリ設計を実現しているほか、グラフィック、動画、テキストに関わる各種先進機能を備えており、ユーザ体験が大幅に向上しています。アドビシステムズ社は最近、AVM2 のソースコードを Mozilla 財団に寄贈しました。これを受けて Mozilla 財団は、新オープンソースプロジェクト Tamarin を立ち上げ、標準規格に準拠した Web アプリケーション開発環境の確立に向けた取り組みを進めており、複数のプラットフォームに対応した、表現力豊かで魅力的な Web アプリケーションを短期間に開発することが可能になります。Tamarin は、Mozilla の Web サイト (<http://www.mozilla.org/projects/tamarin/>) 内のオープンソースバージョン コントロールおよびコラボレーション システムである CVS 経由で入手可能です。

Novell 社の Linux アンド オープン プラットフォーム ソリューション部門、マーケティング担当ディレクターのジャスティン スタインマン (Justin Steinman) 氏は、「Adobe Flash Player 9 は、強力なパフォーマンスとプログラミングモデルを備え、高いセキュリティの視聴体験を実現します。Linux 版の提供開始によって、最高レベルのビジネス向けデスクトップ Linux PC である SUSE Linux Enterprise Desktop の地位はさらに強化されるでしょう。Novell 社はユーザが Web 上で最新のリッチ コンテンツを体験できる環境を整備するため、今後も取り組みを継続して行きます」と述べています。

Red Hat 社のエンタープライズソリューション担当上級副社長であるティム イートン (Tim Yeaton) 氏は、「Red Hat 社は、世界最高の Linux ユーザ体験を提供するべく取り組みを進めています。Adobe Flash Player 9 Linux 版の提供開始により、Red Hat 社は Linux ユーザが求めるデスクトップ機能を提供することができます。Red Hat Enterprise Linux 認証を受けた RIA に対する需要の高まりを示す動きでもあります」と述べています。

Adobe Flash Player 9 Linux 版は、<http://www.adobe.com/jp/downloads/> から無償でダウンロードすることができます。開発者向けのコンテンツデバッグプレーヤーとスタンドアロンプレーヤーは、<http://www.adobe.com/support/flashplayer/downloads.html> からダウンロードすることができます。Adobe Flash Player 9 Linux 版は、Novell 社と Red Hat 社が 2007 年中に提供を予定している最新版の Linux OS にも同梱されます。

Adobe Flash Player 9 には英語版と各国語版が用意されており、いずれも Linux 版、Windows® 版、Macintosh® 版が提供されています。

Adobe Flash Player 9 の詳細については以下の URL をご参照ください。  
<http://www.adobe.com/jp/products/flashplayer/>

無償の Adobe Flex 2 SDK と Flex Data Services 2 Express を利用した Linux 向け RIA 開発の詳細については以下の URL をご参照下さい。(英語)  
<http://www.adobe.com/products/flex/productinfo/overview/>

## 必要システム構成

### Adobe Flash Player 9 Linux 版

- 最新のプロセッサ (800MHz 以上)
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 3 Update 8、RHEL 4 Update 4 (AS/ES/WS)、Novell SUSE 9.x または 10.1
- Firefox 1.5.0.7 以上、Mozilla 1.7.x 以上、SeaMonkey 1.0.5 以上
- 512MB 以上の RAM
- 128MB のグラフィックメモリ

※ Advanced Linux Sound Architecture (ALSA) のみサポートします。(OSS および ESD では音声再生されません)

※ GTK2 ベースのブラウザのみサポートします。

### **アドビ システムズ社について**

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。